

# 平成 28 年度事務事業評価表(内部管理業務用)

①事務事業名		担当	部課コード	170200	TEL	2998-9227
事業コード	公金の保管・運用事務	担当部課	出納室			
130103			グループ	出納担当		

②業務の内容	総合計画の体系	章	行財政運営	節	財政運営	基本方針
	目的(何のために行うか、具体的に)					
	公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保のため、地方自治法及び所沢市会計管理規則等の関係法規に基づく会計管理者の権限に属する公金の保管・運用を確実かつ効率的に行う。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	148	億円
歳計現金、歳入歳出外現金及び基金に属する現金(対象額は3月31日現在)			平成 27 年度	175	億円	
業務の具体的な内容及び実施方法						
歳計現金、歳入歳出外現金は、日々の支払いにあてるための資金とすることから、原則的に普通預金で保管することとしている。収入や支払いの金額及び時期を考慮して資金に余裕がある期間については定期預金などにより運用する。 また、基金についても、原則的に普通預金で保管することとするが、支払資金への繰替運用や基金の取崩しなどを考慮して定期預金や債券などによる運用を行わない、低金利時代においても安全で効率的な運用を図る。						

③経費	<会計種別>	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	当初予算		623	623	627
	決算(見込み含む)		619	619	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	( 0.00 人) ( 0.00 人)	( 0.00 人) ( 0.00 人)		
	正規職員人件費	0.50 人	4,361	0.50 人	4,330
事業費合計		4,980	4,949		

④実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	歳計現金等収入額	万円	294	322	270	
	基金の属する現金収入額	万円	916	1,031	1,414		

⑤成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	利息の収益性	%	目標値	1,045	1,210	1,353
		前年度収益額との対比		実績	1,210	1,353	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	116	112	↑どちらかをチェックしてください

⑥改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	資金の運用においては、日銀の低金利政策により定期預金等の利率が低い状況であったが、運用への資金配分や運用期間を見直し、できるだけ多くの資金を長い期間運用できるように努めたことにより、前年度よりも収益が増加した。また、債権については、これまで2年間の運用が限度であったが、20年までの運用を可能とする規程の整備を行なった。	-

⑦評価	見直しの必要性	コストの見直し <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない	評価理由及び対応策	公金を安全・確実・効率的に運用するため、金融情勢の的確な把握に努める。
		実施過程の見直し <input type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 少ない <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない		公金運用においては、運用資金を多くすること、運用期間を長くすることが、収益性を上げるため、適正な資金残高の予測に努める。
	今後の業務の進め方	公金の運用には、安全性の確保、流動性の確保、効率性の追求に努めている。しかしながら、日銀の低金利政策により、金利が年々低下している状況であり、定期預金による運用では収益を確保することが難しくなっている。長期債券運用は定期預金に比べ収益性が高いことから、今後、長期債権の運用を実施していく。		
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	越阪部 一	

⑧環境影響	有益な環境影響	健全な財政運営	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無